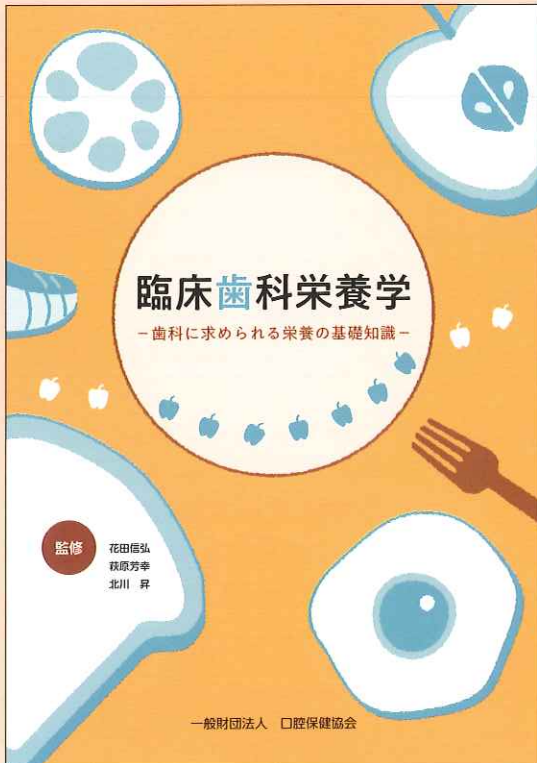


# 歯科医療従事者に栄養学は必要か？ なぜ今、歯科栄養学か？

## 臨床歯科栄養学

— 歯科に求められる栄養の基礎知識 —



食や栄養を通して健康を追求するためには、あくまでも口から食事を摂取することが基本である。事実、単に健康食品やサプリメントに依存することは否定され、正しい食事のとり方と栄養バランスが強調されている。この大きな流れの中で、口腔の健康をつかさどる歯科医療が、どこまで・どのように貢献できるのかが問われている。

また、近年の歯科医師国家試験では歯・口腔と栄養の関連について科学的エビデンスが集積されたため、栄養学に関する試験問題が多数出題されるようになってきた。ところが、歯学部 of 学生教育に適した栄養学の教科書はないため、臨床の立場から問題提起をしてまとめたものはみあたらない。本書の出版を契機として「歯科栄養学」という学問分野が急速に発展し、臨床予防医学の一角を占める時代が来ることを願っている。

- A4判／オールカラー／148頁
- 定価：4,800円＋税／送料360円
- ISBN：978-4-89605-349-4
- 監修：花田信弘・萩原芳幸・北川 昇

### 目次

#### 第1章 歯科における食育と健康

- 1 歯科が栄養に関与しなければいけない理由
- 2 歯科疾患(う蝕、歯周病、咀嚼機能低下)と生活習慣病
- 3 WHOが提唱する砂糖コントロール
- 4 国家試験出題基準からみた知っておきたいやさしい栄養学の基礎
- 5 咀嚼機能評価・口腔機能評価・食形態
  - 5-1 咀嚼／口腔機能評価
  - 5-2 食形態
- 6 栄養サポートチーム
- 7 特定保健用食品
- 8 共生細菌の栄養学

- 8-1 腸内細菌
- 8-2 口腔細菌
- 9 予防歯科の新しい考え方 生活習慣病(NCDs)を予防するための歯科外来

#### 第2章 保健指導を学ぶ

- 1 食育をキーワードにした、子育て支援活動
- 2 歯科が関与するNon-Communicable Diseases(NCD)の保健指導
- 3 高齢者をキーワードにした栄養指導

#### 第3章 医科歯科連携

- 1 訪問診療による栄養指導
- 2 摂食嚥下障害と栄養

一般財団法人 口腔保健協会



# 高齢者歯科の医療事故防止

## — 適切な対応とは何か —

羽村 章・安藤文人 編

執筆：足立了平・石垣佳希・石田 瞭・尾崎哲則・小林清佳・下山和弘・須田牧夫・高井良招・高橋一也・田中 彰・平野浩彦・深山治久



- B5判／200頁／2色刷り
- 本体3,800円＋税／送料360円
- ISBN：978-4-89605-350-0

## 医療事故のリスクを減らす！

高齢者の歯科医療事故を防ぐためにどうしても知っておきたい知識と具体的対策を掲載

近年急増している高齢歯科患者は若年者よりも事故発生のリスクが大きく、また訪問歯科診療など安全管理のための十分な設備が望めない環境での診療も増えています。本書では、医療安全に関する最新の知識、不測の事態が起きたときの具体的対策を掲載しています。安全・安心な歯科診療のために、本書をご活用いただければ幸いです。

### CONTENTS

#### 第1章 高齢者の医療安全上の問題点

1. 医療事故の実態
2. 老化と歯科医療の安全
3. 高齢者と法令・情報

#### 第2章 高齢者が来院したら

1. 医療面接
2. 対診の仕方
3. 認知症患者への対応
4. 薬剤関連の確認

#### 第3章 治療時に注意すべき事項

1. 歯科治療
2. 全身状態
3. 容体急変・救急・蘇生
4. アナフィラキシー
5. 歯科訪問診療における感染予防

#### 6. 高齢者の抑制

#### 7. 医療事故調査制度

#### 第4章 事例と予防策

1. 臨床手技
2. 周囲組織の損傷
3. 誤飲・誤嚥
4. 投薬
5. 全身管理と急変
6. 診療補助・介助
7. スキンケア（皮膚裂傷）
8. 説明と同意
9. 抑制
10. 接遇
11. 社会的な事柄と問題
12. 在宅診療
13. 災害時の歯科診療